

令和7年度
全国学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市教育委員会
令和7年10月

はじめに

令和7年度の全国学力・学習状況調査は、令和7年4月17日に実施され、その結果が7月下旬に公表されました。本調査の対象は小学校第6学年と中学校第3学年の児童生徒です。調査内容については、国語・算数/数学・理科で、中学校理科についてはCBT（Computer Based Testing）方式で実施されました。併せて、児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

泉佐野市ではこれまで、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」ことをめざし、社会に開かれた教育課程の実現と、新しい時代に必要となる資質・能力である「生きる力」の育成に取り組んできました。とりわけ、「生きる力」をはぐくむために、学びに向かう力や人間性等の涵養、生きて働く知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、そして豊かな心や健やかな体の成長等をめざして取組みを進めてきました。

子どもたちの学力向上に関しては、子どもたちの学びをさらに豊かにしていくために、各学校が子どもたちの学習状況をていねいに把握し、分析を重ねることによって、教育活動の質の向上を図っています。加えて、デジタル学習基盤を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の観点から授業改善を行い、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、その実現に向けた研究を進めているところです。

市として本調査の結果を分析し、ホームページで公開する目的は、保護者や地域の方々に、子どもたちの現状を深く理解していただくためです。子どもたちが「確かな学力」を身につけるためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、一体となって子どもたちを支え、見守ることが重要だと考えています。

今回の調査結果は、子どもたちの学力や学習状況、生活状況の一側面を示したものです。しかし、この分析から明らかになった成果と課題を真摯に受けとめ、今後、各学校が子どもたちの好奇心に火をつけ、わかる・できる喜びを感じる授業の実現に向けて授業改善を進めます。また、泉佐野市教育委員会としても、これまでの教育施策を検証し、子どもたちにとって良い学びの環境を築くための改善策を検討してまいります。

最後になりましたが、本市の教育行政ならびに学校の教育活動に、引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年10月

泉佐野市教育委員会
教育長 奥 真弥

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和7年4月17日（木）

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童	実施児童数（ 702人 ）
中学校第3学年、全生徒	実施生徒数（ 630人 ）

4. 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

（ア） 小学校調査は、国語・算数・理科とし、中学校調査は、国語・数学・理科とする。

※【中学生理科は、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）によるオンライン方式で実施】

（イ） 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

（ウ） 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

イ 質問調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問調査」という。）を実施する。

（2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問調査」という。）を実施する。

小 学 校

(令和7年4月17日実施702名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
理科に関する分析
児童質問の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率（泉佐野市 62／大阪府 66／全国 67.2）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。 1ー【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する (45.7/53.3) ○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることに課題がある。 1三（1）【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択する (64.6/71.8) 【書くこと】 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることに課題がある。 2ー【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する (58.4/65.5) 【読むこと】 ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。 3三（1）【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する (35.3/40.8)	○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。 3三（2）【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く (47.4/56.3) 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 2四ア【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す（このみ） (75.0/81.6) 【情報の扱い方に関する事項】 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。 1二【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する (57.9/63.1)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は得意ですか	56.3	61.4 (61.4)	◇	5.1
国語の勉強は好きですか	52.9	58.3 (56.6)	◇	5.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.3	82.8 (83.9)		0.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.8	90.4 (88.5)		1.6
国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	81.4	78.2 (80.9)		3.2
国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	82.9	75.5 (78.5)	◇	7.4
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	80.4	81.8 (81.6)		1.4
国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけていますか	79.4	79.1 (79.4)		0.3
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか※「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」	77.0	81.7 (78.7)		4.7
解答時間は十分でしたか（国語） ※「時間が余った」「ちょうどよかった」を合わせた数値	67.4	73.9 (74.4)	◇	6.5

○「国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合が高いことは評価できる。

○「国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる」と感じている児童の割合が高いことは評価できる。

○「国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる」と感じている児童の割合が高いことは評価できる。

○「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている」と感じている児童の割合が高いことは評価できる。

○解答時間は十分だったと感じている児童の割合が低いことは課題である。

問題別集計結果

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)				
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					主体的に学習に取り組む態度	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現								選択式
1一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6ア			○		○		45.7	52.0	53.3	1.4	0.6	0.5
1二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6イ						○		○		57.9	61.5	63.1	1.2	0.5	0.5
1三（1）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Aのように発言した目的として適切なものを選択する	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる				5・6エ			○		○		64.6	69.9	71.8	1.4	0.6	0.6
1三（2）	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部Bのように発言した理由として適切なものを選択する	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				5・6エ			○		○		72.0	73.2	73.7	1.6	0.6	0.6
2一	【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる				3・4イ				○	○		58.4	63.3	65.5	1.6	0.9	0.8
2二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6エ			○		○		78.2	80.3	81.8	1.9	0.9	0.8
2三	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ			○			○	57.1	57.7	61.3	4.9	5.4	5.0
2四ア	【ちらし】の下線部Aを、漢字を使って書き直す（ このみ ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○			○	75.0	82.1	81.6	9.5	6.9	7.2
2四イ	【ちらし】の下線部Bを、漢字を使って書き直す（ あついで ）		5・6エ						○			○	70.2	71.9	72.1	6.5	4.2	4.3
3一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる	5・6ウ						○		○		79.3	80.3	81.2	3.0	1.5	1.3
3二（1）	【木村さんのメモ】の空欄Aに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる						1・2ア	○		○		78.0	80.5	81.6	4.6	3.2	2.9
3二（2）	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄Bに当てはまる内容として適切なものを選択する	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる				5・6ア			○		○		49.0	49.4	51.3	4.5	2.5	2.4
3三（1）	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ			○		○		35.3	40.7	40.8	6.8	3.5	3.4
3三（2）	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ			○			○	47.4	53.6	56.3	21.1	16.5	16.2

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中間層・下位層に多く分布され、上位層の割合に関しては、全国、大阪府を大きく下回っている。

平均正答率（泉佐野市 52.0／大阪府 58.0／全国 58.0）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。 3（2）$3/4 + 2/3$について、共通する単位分数と$3/4$と$2/3$が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く（18.6/23.0） ○数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみることに課題がある。 3（3）数直線上に示された数を分数で書く（30.0/35.0） ○異分母の分数の加法の計算が概ねできている。 3（4）$1/2 + 1/3$を計算する（79.8/81.3） 【図形】 ○基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することに課題がある。 2（4）五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの面積の求め方を書く（29.9/37.0） ○角の大きさについて概ね理解できている。 2（3）角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ（77.2/79.3）	【測定】 ○「10%増量の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がある。 4（4）10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ（31.5/40.9） 【データの活用】 ○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。 1（2）都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く（21.8/31.0） 【数と計算 測定 変化と関係 データの活用】 ○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することに課題がある。 4（2）使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く（40.3/48.7） 【数と計算 変化と関係 データの活用】 ○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出すことができるかどうかを見ることが概ねできている。 4（1）新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ（78.2/82.8）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は得意ですか	58.6	60.3 (59.7)		1.7
算数の勉強は好きですか	55.7	57.9 (56.0)		2.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.0	78.3 (79.8)		2.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.2	91.6 (89.9)		1.4
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	82.9	83.3 (81.8)		0.4
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	78.9	82.3 (80.2)		3.4
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動を行っていますか	71.1	65.5 (69.6)	◇	5.6
少数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	80.3	80.6 (80.0)		0.3
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。 ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	66.7	74.5 (73.2)	◇	7.8
解答時間は十分でしたか（算数）	77.6	80.4 (81.0)		2.8

- 「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対しての肯定的回答が多いことは評価できる。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対しての肯定的回答が多く、府の肯定的回答の割合を上回っていることは評価できる。
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」に対しての肯定的回答が府の肯定的回答を上回っていることは評価できる。
- 「算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動を行っていますか」に対しての肯定的な回答の割合が府、全国平均を上回っていることは評価できる。
- 「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。」に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合が全国、府の平均より5ポイント以上低く、課題が見られる。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1(1)	2022年の全国のブロックリーの出荷量が2020年の全国のブロックリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)				3(1) ア(イ)	○			○		74.5	78.7	78.7	0.3	0.4	0.4
1(2)	都道府県Aのブロックリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる					3(1) ア(イ) 5(1) ア(ア) イ(ア)	○				○	21.8	28.6	31.0	1.0	0.9	0.9
1(3)	示された表から、「春だいいん」や「秋冬だいいん」より「夏だいいん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ	簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる					3(1) ア(ア)	○			○		61.8	69.6	71.6	5.9	4.1	3.5
1(4)	示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロックリー4個の重さを求める式と答えを書く	示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうかをみる	4(6) ア(ア) イ(ア)						○			○	69.3	74.4	74.5	3.0	2.7	2.6
2(1)	示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ	平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる		4(1) ア(イ)				○			○		51.9	57.6	58.3	1.3	1.2	1.2
2(2)	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4(1) ア(イ)				○			○		43.7	50.4	50.2	1.2	0.7	0.7
2(3)	角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ	角の大きさについて理解しているかどうかをみる		4(8) ア(ア)				○			○		77.2	78.4	79.3	1.3	1.0	1.0
2(4)	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる		5(3) ア(ア) ※					○			○	29.9	36.6	37.0	3.8	2.7	2.7
3(1)	0.4+0.05について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く	小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる	4(4) ア(イ) ア(ウ)					○			○		65.5	73.8	74.1	4.8	3.0	2.8
3(2)	3/4+2/3について、共通する単位分数と、3/4と2/3が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	5(5) ア(ア) イ(ア)					○				○	18.6	23.5	23.0	20.2	15.4	15.7
3(3)	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる	3(6) ア(ア) ア(イ)					○			○		30.0	35.4	35.0	9.1	7.9	7.8
3(4)	1/2+1/3を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる	5(9) ア(ア)					○			○		79.8	82.5	81.3	4.5	4.2	4.1
4(1)	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるかを調べるために、必要な事柄を選ぶ	作って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)			4(1) ア(ア)	5(2) ア(ア)	○			○		78.2	82.1	82.8	3.8	2.6	2.6
4(2)	使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く	作って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(4) ア(ア)	3(1) ア(ア)	4(1) ア(ア)	5(2) ア(ア)		○			○		40.3	48.4	48.7	5.3	3.6	3.4
4(3)	はかりが示された場面で、はかりの目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる		3(1) ア(イ)				○			○		53.7	59.2	60.9	7.4	4.4	4.2
4(4)	10%増量したためかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ	「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる				5(3) イ(ア)		○			○		31.5	41.5	40.9	7.6	4.2	4.1

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校理科

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中下位層に偏りが見られる。

平均正答率（泉佐野市 50／大阪府 55／全国 57.1）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
【「エネルギー」を柱とする領域】 ○乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識に課題がある。 2（4）乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ (40.7/55.1) 【「粒子」を柱とする領域】 ○水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することに課題がある。 4（3）カ 海にある氷がとめることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ (53.4/59.8)	【「生命」を柱とする領域】 ○発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することに課題がある。 3（3）ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ (51.1/62.0) 【「地球」を柱とする領域】 ○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することに課題がある。 1（1）赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く (69.8/79.5)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は得意ですか	68.6	78.4 (74.8)	◇	9.8
理科の勉強は好きですか	71.2	80.1 (76.1)	◇	8.9
理科の授業の内容はよく分かりますか	87.9	88.9 (87.2)		1.0
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.3	79.9 (77.7)		3.6
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	32.9	30.0 (31.8)		2.9

理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	62.9	63.2 (63.4)		0.3
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見だしたりしていますか	66.4	68.9 (67.7)		2.5
理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	89.0	92.4 (91.6)		3.4
理科の授業では、問題に対して答えがどのようなのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	81.9	85.7 (84.7)		3.8
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	83.5	88.4 (87.1)		4.9
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	72.5	76.0 (75.9)		3.5
今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	75.9	81.8 (78.3)	◇	5.9

- 「理科の勉強が好きだ」「理科の勉強が得意だ」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
- 「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う」と感じている児童の割合が、全国と比べて高い割合であることは評価できる。
- 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と感じている児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。

問題別集計結果

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			A区分	B区分			貴 教 育 委 員 会	大 阪 府 (公 立)	全 国 (公 立)	貴 教 育 委 員 会	大 阪 府 (公 立)	全 国 (公 立)
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域 「生命」を柱とする領域 「地球」を柱とする領域	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	選択式 短答式 記述式						
1 (1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる		4B (3)ア (イ)※	○	○	69.8	76.2	79.5	3.3	3.1	2.5
1 (2)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる		4B (3)ア (イ)※	○	○	52.0	57.7	60.5	12.7	9.9	8.5
1 (3)	【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらの組の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる		4B (3)ア (イ)※	○	○	72.5	75.9	77.8	2.3	1.1	0.9
2 (1)	アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる	3A (5)ア (イ)	3A (4)ア (ア)	○	○	6.9	9.9	10.6	1.2	0.7	0.6
2 (2)	電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの刺を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ	電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる	3A (5)ア (イ)※		○	○	35.7	40.1	42.9	1.2	0.8	0.6
2 (3)	ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く	電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わるものの知識が身に付いているかどうかをみる	5A (3)ア (イ)		○	○	75.8	75.9	78.0	3.2	3.1	2.7
2 (4)	乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ	乾電池のつなぎ方について、直列につなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる	4A (3)ア (ア)		○	○	40.7	49.7	55.1	1.2	0.9	0.8
3 (1)	ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる		5B (1)ア (エ)	○	○	67.9	66.0	70.7	1.3	1.7	1.5
3 (2)	ヘチマの花弁を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ	顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる		5B (1)ア	○	○	39.4	46.1	45.6	1.3	1.0	0.8
3 (3)	ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ	発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる		5B (1)ア (イ)※	○	○	51.1	58.4	62.0	3.5	2.0	1.7
3 (4)	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について書く	レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、表現することができるかどうかをみる		5B (1)イ	○	○	20.7	25.6	29.9	15.5	12.9	11.4
4 (1)	水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く	水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる	4A (2)ア (イ)※		○	○	48.9	49.2	50.6	8.5	6.6	6.1
4 (2) イウ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A (2)ア (ウ)	4B (4)ア (イ)	○	○	56.9	60.6	64.2	3.2	1.4	1.3
4 (2) エオ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A (2)ア (ウ)	4B (4)ア (イ)	○	○	49.3	54.1	57.5	3.2	1.6	1.5
4 (3) カ	海にある水がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ	水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の水の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる	4A (2)ア (ウ)※		○	○	53.4	58.6	59.8	4.8	2.5	2.3
4 (3) キ	水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ	水がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる		4B (3)ア (ア)	○	○	56.4	59.0	60.9	4.9	2.7	2.4
4 (3) ク	海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ	「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる	4A (2)ア (ア)※		○	○	59.8	63.8	65.6	4.8	2.7	2.5

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえ、当てはまる 3. どちらかといえ、当てはまらない 4. 当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市＜泉佐野市回答率／全国回答率＞（大阪府回答率）
【家庭学習の様子】	○学校の授業以外に、勉強を全くしない割合は、全国を上回っている。(ただし回答は「その他・無回答」含む)	○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 「全くしない その他 無回答」の回答 ＜15.1／5.7＞（12.2）
	○土曜日や日曜日など学校が休みの日に勉強を全くしない割合は、全国を上回っている。(ただし回答は「その他・無回答」含む)	○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 「全くしない その他 無回答」の回答 ＜31.0／17.5＞（27.3）
	○学校の授業時間以外に読書を全くしない割合は、全国を上回っている。(ただし回答は「その他・無回答」含む)	○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 「全くしない その他 無回答」の回答 ＜39.5／29.2＞（33.7）
	○家にある本の冊数が0～10冊の割合は、全国を上回っている。	○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く） 「0～10冊」の回答 ＜21.3／15.1＞（17.7）
【学校での生活の様子】	○先生や学校にいる大人にいつでも相談できる割合は、全国を上回っている。	○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか ＜75.9／70.6＞（75.3）
【学校での学習の様子】	○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用した割合は、全国を下回っている。	○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 「ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）」の回答 ＜7.5／24.5＞（19.1） 「ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業）」の回答 ＜14.9／22.2＞（19.7）

	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか 「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」の回答 ＜75.7／82.3＞（79.7）
--	--	--

中 学 校

(令和7年4月17日実施630名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
理科に関する分析
生徒質問の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に興味を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

3. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べると下位層に偏りが見られる。

平均正答率（泉佐野市 48.0／大阪府 52.0／全国 54.3）

4. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
【話すこと・聞くこと】 ○資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができると評価できる。 2（一）スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する（40.3/38.1） ○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。 2（二）聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する（70.6/77.9） ○自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することに課題がある。 2（三）「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する（66.1/73.4） 【書くこと】 ○目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることが概ねできている。 1（二）ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する（80.1/82.5） ○読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。 4（二）手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く（19.1/28.7）	【読むこと】 ○文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることが概ねできている。 3（二）「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く（80.3/89.9） ○文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。 3（四）「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く（10.0/17.1） 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○文脈に即した漢字を正しく使うことに課題がある。 1（一）変換した漢字として適切なものを選択する（かいしん）（34.2/35.2） ○事象や行為を表す語彙について理解することに課題がある。 3（三）「しきりと」の意味として適切なものを選択する（53.1/61.0）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は得意ですか	47.8	51.4 (48.8)		3.6
国語の勉強は好きですか	50.0	57.9 (56.3)	◇	7.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	73.1	77.0 (78.3)		3.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.8	88.3 (86.4)	◇	6.5
国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか	67.1	74.0 (74.2)	◇	6.9
国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか	69.1	73.6 (72.9)		4.5
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	41.3	65.3 (62.2)	○	24.0
解答時間は十分でしたか（国語）	60.9	67.8 (72.6)	◇	6.9

- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が、高い割合であることは評価できる。
- 「国語の勉強は好き」と感じている生徒の割合の全国との差が大きいことは課題である。
- 「今回の国語の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合の全国との差が非常に大きいことは課題である。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等				選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと										
1 一	変換した漢字として適切なものを選択する（かいしん）	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる	2ウ						○		○		34.2	35.2	35.2	0.5	0.2	0.2
1 二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる					1ア		○		○		80.1	81.2	82.5	0.5	0.2	0.2
1 三	ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる					1イ		○		○		57.0	59.4	63.3	0.6	0.4	0.5
1 四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる					1ウ		○		○		27.8	27.8	31.0	2.9	2.1	1.6
2 一	スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					2ウ		○		○		40.3	36.7	38.1	1.1	0.4	0.3
2 二	聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					1ウ		○		○		70.6	75.6	77.9	1.0	0.4	0.3
2 三	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる					2イ		○		○		66.1	71.1	73.4	1.3	0.8	0.6
2 四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					2ウ		○		○		15.9	19.5	23.2	10.3	4.9	4.0
3 一	物語の始めに問かけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する	表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○		○	71.4	79.3	80.0	2.1	0.5	0.5
3 二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる						2ア		○		○	80.3	88.6	89.9	9.6	5.2	4.0
3 三	「しきりと」の意味として適切なものを選択する	事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる	1ウ						○		○		53.1	60.5	61.0	2.4	0.8	0.8
3 四	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○		○	10.0	15.6	17.1	40.1	30.6	28.1
4 一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる						1エ		○		○	51.2	56.7	57.3	39.5	33.2	33.5
4 二	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる						1エ		○		○	19.1	27.4	30.1	28.7	20.6	19.1

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、下位層に偏りが見られる。

平均正答率(泉佐野市 41 /大阪府 47 /全国 48.3)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
【数と式】 ○事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることに課題がある。 6（1）連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める（53.2/62.8） ○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。 6（3）連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成させる（35.7/45.2） 【図形】 ○総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することに課題がある。 9（2）平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する（27.1/36.3） ○ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。 9（3）平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する（24.0/33.2）	【関数】 ○事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることに課題がある。 8（1）A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ（64.3/71.9） ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 8（2）A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する（64.3/71.9） 【データの活用】 ○相対度数の意味を理解することに課題がある。 5ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める（30.4/42.5） ○不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 7（2）Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する（44.2/55.9）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は得意ですか	50.0	46.0 (47.9)		4.0
数学の勉強は好きですか	51.1	53.8 (53.1)		2.7
数学の授業の内容はよく分かりますか	75.6	70.3 (74.8)	◇	5.3
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	69.4	75.2 (74.0)	◇	5.8
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	55.4	57.9 (58.5)		2.5
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	74.8	76.2 (76.2)		1.4
数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	50.8	58.6 (59.0)	◇	7.8
文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか	64.1	67.1 (66.8)		3.0
今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	36.0	54.9 (51.6)	○	18.9
解答時間は十分でしたか（数学）	74.2	73.2 (78.2)		1.0

- 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合は、全国と比べて下回っており、課題がある。
- 「数学の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合は、全国と比べて下回っており、課題がある。
- 「数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている」と感じている生徒の割合は、全国と比べて下回っており、課題がある。
- 「今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」という質問に対し「全ての書く問題で最後まで回答を書こうと努力した」生徒の割合は、全国と比べて下回っており、課題がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	1 (1) ア (7)				○			○			32.2	31.2	31.8	1.6	0.8	0.7
2	果汁40%の飲み物a mLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	1 (2) ア (2)				○				○		51.0	52.0	51.9	9.3	8.3	7.3
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが60°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる	2 (1) ア (4)				○				○		53.5	60.7	58.1	4.3	2.3	2.0
4	一次関数 $y = 6x + 5$ について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる	2 (1) ア (7)		2 (1) ア (7)		○				○		28.0	33.9	34.7	14.3	8.8	8.0
5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、2.0m以上2.5m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる				1 (1) ア (7)	○				○		30.4	36.5	42.5	16.7	11.0	9.4
6 (1)	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる	2 (1) ア (9) イ (4)				○				○		53.2	60.0	62.8	11.2	6.4	4.6
6 (2)	$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する	式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ (4)					○				○	21.2	24.5	25.7	41.0	28.8	24.9
6 (3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ (4)					○				○	35.7	44.3	45.2	37.3	23.6	20.2
7 (1)	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる				2 (2) ア (7)	○				○		69.1	75.9	77.4	6.7	4.4	3.2
7 (2)	Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2 (2) イ (4)		○				○	44.2	52.4	55.9	4.8	2.6	2.2
8 (1)	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる				1 (1) ア (9)	○			○			64.3	69.2	71.9	4.6	2.4	2.3
8 (2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				1 (1) イ (4)		○				○	27.2	35.9	38.0	46.5	37.9	35.0
9 (1)	四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ	証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる	2 (2) ア (4)				○			○			51.4	56.9	58.5	3.7	1.2	1.1
9 (2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	2 (2) イ (7)				○				○		27.1	34.4	36.3	13.9	8.0	7.2
9 (3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2 (2) イ (4)					○				○	24.0	33.0	33.2	47.4	35.2	31.5

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校理科

1. 全体の傾向

- ・全国・大阪府と比較的大きな差は見られず、おおよそ同じような割合で分布している。

（問題は全日程共通の公開問題・実施日によって異なる公開問題・生徒ごとに異なる非公開問題があります。）

	全日程共通の公開問題における		※IRT スコア
	平均正答数	無回答率	
泉佐野市	2.7 問(6 問中)	6.2%	478
大阪府	2.7 問(6 問中)	6.1%	487
全国	2.9 問(6 問中)	4.6%	503

※IRT スコア

※IRT とは、生徒の正答・誤答が問題の特性によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のことです。

※IRT スコアとは、IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、全国平均を基準とした得点で表したものです。

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

理科	特 徴 が み ら れ た 設 問
【「エネルギー」を柱とする領域】 ○電熱線で水を温める学習場面における、回路の電流、電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能は評価できる。 1（1）電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する。（54.6/51.9）	【「粒子」を柱とする領域】 ○身の回りの事象から生じた疑問や見出した問題を解決するための課題を設定することに課題がある。 1（2）「理科の実験では、なぜ水道水ではなくて精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する。（33.4/46.2）
【「粒子」を柱とする領域】 ○元素を記号で表すことに関する知識及び技能には評価できる。 1（5）塩素の原子記号を記述する。（54.8/44.9）	【「粒子」を柱とする領域】 ○科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することに課題がある。 1（6）水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する。（70.1/79.4）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は得意ですか	59.0	50.7 (49.3)	◇	8.3
理科の勉強は好きですか	62.2	66.8 (59.6)		4.6
理科の授業の内容はよく分かりますか	76.7	71.4 (72.1)	◇	5.3
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	59.4	63.4 (60.6)		4.0
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	18.9	21.7 (21.7)		2.8
理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	50.0	54.7 (53.0)		4.7
理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか	47.9	50.7 (48.8)		2.8
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見だしたりしていますか	52.4	56.2 (54.4)		3.8
理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	28.3	85.8 (73.7)	○	57.5
理科の授業では、自分で予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか	39.7	70.2 (64.7)	○	30.5
理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	55.1	68.4 (64.0)	○	13.3

- 「理科の勉強は得意」と感じている生徒の割合が、全国や府と比べて高い割合であることは評価できる。
- 「授業の内容がよく分かる」と感じている生徒の割合が、全国や府と比べて高い割合であることは評価できる。
- 「理科の授業では、観察や実験をよく行っている」と感じている生徒の割合が、全国や府と比べて低い割合であることは課題がある。
- 「理科の実験では、自分で予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている」と感じている生徒の割合は全国や府に比べて低い割合であることは課題である。

令和7年度全国学力・学習状況調査 公開問題別調査結果【理科】 京佐野市教育委員会一生涯													中学校調査									
問題別集計結果（公開問題）																						
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			問題の難易度	対象生徒数			
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）		全国（公立）			
1（1）	電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する	電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(3) (7) ②				○			○			54.6	52.7	51.9	0.3	0.4	0.2	5	575	57,913	864,634
1（2）	「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を設定する	身の周りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる	(2) (7) ②					○			○		33.4	40.2	46.2	13.0	11.6	8.0	5	575	57,913	864,634
1（3）	地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する	震源のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能に関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさとに着目して分析して解釈できるかどうかをみる				(2) (7) ②			○		○		33.2	33.5	36.2	0.9	1.1	0.6	5	575	57,913	864,634
1（4）	生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する	水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる		(3) (9) ②			○			○			25.4	27.7	29.7	0.2	0.4	0.2	5	575	57,913	864,634
1（5）	塩素の元素記号を記述する	塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる		(4) (7) ②			○				○		54.8	45.6	44.9	7.8	9.9	8.5	4	575	57,913	864,634
1（6）	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する	科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活とに関連した着目した振り返りを表現できるかどうかをみる		(2) (7) ②				○			○		70.1	73.8	79.4	15.1	13.4	9.9	3	575	57,913	864,634
2（1）	【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する	【考察】をより確かなものにするために、昔に習った知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる	(1) (7) ②					○			○		13.5	12.4	14.0	4.1	3.0	1.9	5	148	13,064	203,127
2（2）	「Webページの権限だけを信用して考査してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する	ストーリーの太さや音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面では、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (7) ②				○				○		94.6	92.0	94.6	0.0	0.4	0.1	2	148	13,064	203,127
3（1）	設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する	仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる	(3) (7) ②					○		○		<u>33.7</u>	34.6	34.9		0.2	0.2	5		15,975	220,884	
3（2）	抵抗に関する知識を手探かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する	身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗がついている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(3) (7) ②					○		○		<u>28.2</u>	83.1	85.2		0.2	0.1	2		15,975	220,884	
4（1）	プロパンガスと都市ガスでシャボン玉を作ったときの様子から、プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大きさを判断し、小さい順に並べる	ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識および技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる	(2) (7) ②					○		○			42.9	45.2	50.4	0.0	0.3	0.1	4	312	14,529	220,314
4（2）	「一酸化炭素は空気より軽い」という性質を基に、適切な避難行動を選択する	火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(2) (7) ②				○			○			91.3	92.2	92.8	0.0	0.2	0.1	2	312	14,529	220,314
5（1）	加熱を伴う実験において、火傷をしたときの適切な応急処置を選択する	加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかを見る	(2) (7) ②				○			○			84.3	90.9	93.0	0.0	0.2	0.1	1	115	14,345	220,309
5（2）	実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているかを判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる	(4) (4) ②					○			○		19.1	33.0	35.6	4.3	5.3	4.6	4	115	14,345	220,309
6（1）	牧野富太郎の「ノゾギク」のスケッチから分かるスケッチの技能について、適切なものを選択する	スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (7) ②				○			○		<u>60.9</u>	63.5	65.9		0.3	0.2	4		15,975	220,884	
6（2）	牧野富太郎の「サユリ」のスケッチから、サユリの【茎の横断面】、【根】として適切なものを判断し、選択する	スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の茎、葉、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる	(3) (4) ②					○		○		<u>37.3</u>	38.8	41.9		0.2	0.1	4		15,975	220,884	
7（1）	小腸の糸毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択する	小腸の糸毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる	(3) (9) ②				○			○			33.3	32.1	34.8	0.0	0.4	0.2	5	312	14,529	220,314
7（2）	消化によってデンプンがブドウ糖に分解されることと、同じ化学変化であるものを選択する	分解に関する身近な事象を問うことで、これまで学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分析の知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(4) (7) ②	(3) (9) ②			○			○			46.5	49.7	51.6	0.0	0.4	0.2	5	312	14,529	220,314
8（1）	大地の変化に関する言い伝えを1つ選択し、その選択した言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を「地層を調べたときに何が分ればよいか」に着目して記述する	地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる		(2) (4) ②			○				○		25.2	36.8	42.2	1.7	4.5	3.2	4	115	14,345	220,309
8（2）	Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようなになればよいかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで表す	大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がり方を検討して表現できるかどうかをみる		(2) (4) ②			○				○		12.2	18.4	18.1	0.0	1.8	1.1	5	115	14,345	220,309
9（1）	【予想】から学習した内容が反映されたAさんの「振り返り」を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する	気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見直しについて分析して解釈できるかどうかをみる		(4) (7) ②			○			○			33.1	27.9	31.8	0.0	0.8	0.3	5	148	13,064	203,127
9（2）	クリーンルームのほかに気圧を利用している身近な事象を選択する	気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる		(4) (7) ②			○			○			48.0	53.1	58.1	0.0	0.7	0.3	4	148	13,064	203,127

令和7年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市＜泉佐野市回答率／全国回答率＞（大阪府回答率）
【自分自身について】	○将来の夢や目標を持っている割合は, 全国を下回っている。	○将来の夢や目標を持っていますか ＜63.8／67.5＞（64.9）
【家庭生活の様子】	○朝食を毎日食べている割合は, 全国を下回っている。 ○地域の大人に, 授業や放課後などで勉強やスポーツ, 体験活動に関わってもらったり, 一緒に遊んでももらったりすることがある割合は, 全国を上回っている。	○朝食を毎日食べていますか 「当てはまる」の回答 ＜69.8／78.7＞（75.5） ○地域の大人に, 授業や放課後などで勉強やスポーツ, 体験活動に関わってもらったり, 一緒に遊んでももらったりすることがありますか（習い事は除く） 「よくある」の回答 ＜15.6／11.7＞（12.0）
【家庭学習の様子】	○学校の授業時間以外に, 普段3時間以上勉強している生徒の割合は, 全国を上回っている。 ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ○家にある本が10冊以下の生徒の割合は, 全国を上回っている。	○学校の授業時間以外に, 普段（月曜日から金曜日）, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 「3時間以上」の回答 ＜15.4／9.9＞（12.5） ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 「3時間以上」の回答 ＜18.1／13.8＞（13.1） ○あなたの家には, およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌, 新聞, 教科書は除く） 「0～10冊」の回答 ＜28.6／17.4＞（20.5）

【学校での生活の様子】	○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う生徒の割合は、全国を下回っている。 ○放課後や週末に学習塾など学校や家以外の場所で勉強している生徒の割合は、全国を上回っている。	○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 「当てはまる」の回答 <41.4/46.4> (46.7) ○放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択） 「学校の部活動に参加している」の回答 <62.5/71.1> (65.9)
【学校での学習の様子】	○1, 2年のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた割合は、全国を下回っている。	○1, 2年のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか 「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」の回答 <52.3/63.0> (63.7)